

解答

一

問一

優しさ 言いつらいことを人に言わせないようにする気づかい。

問二

プライド 自分でもわかっていることを人から言われたくないと思う自尊心。

問三

ウ

問四

イ

I 足をケガする

II ママと結婚する

III 運

問五

高校時代を振り返って、自分の得意技について自分自身で再確認することにつながったから。

問六

自分の不運を受け入れ、代わりの目標を見つけて努力し、人に喜ばれ必要とされる喜びを知る人生もある

問七

ということを伝えたかったのに、ゲンにはあっさり「運がいい」と受け止められていたから。

問八

イ

ラインをきれいに引くパパの誠実さ、人に喜ばれたり必要とされたりする喜びを知っている優しさ、不運を乗り越える強さなど、パパのライン引きを通して、ママはパパの人柄を尊敬し、とても評価しているから。

二

問一

I オ 2 イ 3 ウ

問二

ア

理由 イ

問三

ア

学歴や偏差値は、数値化された一面的な能力の指標にすぎないが、職業の能力はさまざまあり、数値で表わすこともできないと考えている。

問四

エ

問五

ウ

問六

エ

問七

ウ

問八

① 暮「らす」

② 不毛

③ 資質

④ 指標

⑤ 成果

職業という分類だけで将来をイメージしたり、自分の向き不向きを決めてしまったりせず、13歳の段階では、将来のことは大きく自由に考えていたほうがいい。

解説

一

問八

千春は、高校生の部活でマネージャーだった和志が引いてくれるラインが最高だったと話しています。また、和志も、「誰かの役に立って、誰かに喜んでもらえることのうれしさを初めて知った」こと、千春と組んだことが二人の結ばれるきっかけになったことを思い出しています。和志の「ライン引き」は、和志の人柄を表しており、それを千春が高く評価していることを読み取りましょう。

二

問七

筆者は、「13歳の段階の少年少女が、自分の将来を職業という分類だけでイメージすることは、危険だ。」「自分の向き不向きを決めつけてしまうこと自体が無謀だ」「職業の名前で他人の能力を判断したり、自分に与えられていう肩書きで自分の幸福度やプライドを計測することは、…むなしい」と述べており、「アタマだけで何かを判断することには慎重にならなければいけない」と主張しています。